

治験ニュースレター

第43号 島根大学医学部附属病院 臨床研究センター治験管理部門発行 (2018.10)

医師主導治験が スタートしました

本院で初めてとなる医師主導治験がスタートしました。

治験の準備から管理を医師自ら行うことを医師主導治験といいます。通常の企業治験で医療機関が果たす試験の実施という役割に加え、企業が行なっている治験に関する様々な業務（治験実施計画書等の作成、治験計画届の提出、治験の実施、モニタリングや監査の管理、試験結果を取りまとめた総括報告書の作成）を治験責任医師が行なうことになります。

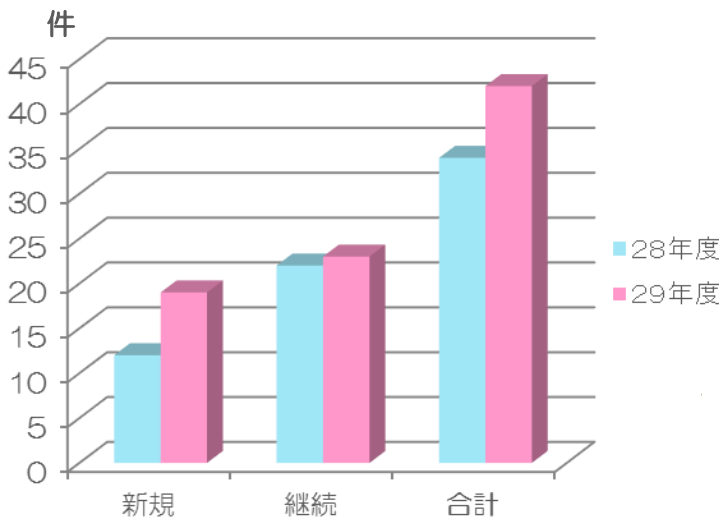
今回の医師主導治験は、宮崎大学が中心となってクローン病の方を対象として実施され、当院では消化器内科 石原俊治先生が責任医師としてすでに1症例を実施しました。

現在、当院では他の診療科においても新たに医師主導治験の申請準備を始めています。

今後、治験実施施設として、さらに多くの先進的な治験が実施されますよう、ひきつづき皆さまのご協力をお願い申し上げます。

H29年度 治験実施状況のご報告 H29年度新規契約の治験

治験契約件数（医療機器を含む）



- COPD（慢性閉塞性肺疾患）
- 中等症活動期潰瘍性大腸炎
- 関節リウマチ
- 遅発性ジスキネジア
- 再発性低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫
- 非アルコール性脂肪肝炎（NASH）
- がん疼痛
- RS(Respiratory Syncytial) ウイルス感染症
- アトピー性皮膚炎
- 小児アトピー性皮膚炎
- 胃食道逆流性症 胃内酸度測定薬
- 再発・再燃びまん性大細胞型B細胞リンパ腫
- 小児成長ホルモン分泌不全性低身長症
- 脳卒中後の下肢痙攣

上記のほか、前年度から継続中および今年度新規契約の治験も含めて、外来の「患者さんお知らせシステム」「創薬ボランティア掲示板」やホームページでご紹介し募集しています。

お問い合わせをお待ちしています。

平成29年度の治験等（製造販売後調査を含む）における契約状況がまとめられました。

新規治験が過去最高の19件（前年度12件）契約されたことにより、契約金額については、前年度を上回ることができました。各診療科において新規治験を積極的に受け入れていただいたおかげです。本当にありがとうございました。

今年度も順調に新規契約が進んでおり、すでに多くの治験を開始しております。

今後ともひきつづきよろしく願いいたします。

新しいスタッフを
紹介します



治験事務局 浦上 かおり

8月から治験事務局で勤務しております。
業務が円滑に進むよう一生懸命に取り組みさせていただきます。
ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、温かいご指導の程よろしくお願い致します。